

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物及び什器備品・・・定率法及び定額法によっている。

無形資産・・・・・・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、当期末退職給与の自己都合要支給に相当する額から、中小企業退職金共済事業負担退職金を控除した額を計上している。

役員退職慰労引当金・・役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給に相当する額を計上している。

賞与引当金・・・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、未経過リース料総額は、4,107千円であります。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
貸付信託	0	—	—	0
投資有価証券	10,000,000	—	—	10,000,000
定期預金	5,000,000	—	—	5,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	69,798,636	3,589,092	252,200	73,135,528
役員退職慰労引当資産	1,665,000	1,065,000	900,000	1,830,000
減価償却引当資産	50,000,000	—	—	50,000,000
小 計	121,463,636	4,654,092	1,152,200	124,965,528
合 計	136,463,636	4,654,092	1,152,200	139,965,528

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	—	10,000,000	—
定期預金	5,000,000	—	5,000,000	—
小 計	15,000,000	—	15,000,000	—
特定資産				
退職給付引当資産	73,135,528	—	—	73,135,528
役員退職慰労引当資産	1,830,000	—	—	1,830,000
減価償却引当資産	50,000,000	—	50,000,000	—
小 計	124,965,528	—	50,000,000	74,965,528
合 計	139,965,528	—	65,000,000	74,965,528

5. 担保に供している資産

該当なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物	119,589,900	84,105,467	35,484,433
什 器 備 品	96,293,335	85,982,308	10,311,027
無形固定資産	22,476,252	21,222,925	1,253,327
合 計	238,359,487	191,310,700	47,048,787

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

11. 関連当事者との取引の内容

属 性	当協会を支配する法人
法人当の名称	独立行政法人日本原子力研究開発機構
住 所	茨城県那珂郡東海村村松 4 番地 4 9
資産総額	7 6 0, 7 8 9, 6 7 5, 2 0 6 円 (平成23年3月31日)
事業の内容	原子力に関する基礎的研究及び応用の研究並びに核燃料サイクルを確立するための高速増殖炉及びこれに必要な核燃料物質の開発並びに核燃料物質の再処理に関する技術及び高レベル放射性廃棄物の処分等に関する技術の開発、これらの成果の普及に関すること。
議決権の所有	なし
関係内容 役員の兼務等 事実上の関係	2名 (1) 当協会の主要事業である放射線測定器の点検校正における、校正場の施設及び設備を賃貸借契約により借り受けている。 (2) 事業収入の48.7%を占めている。
取引金額 事業費・賃借料 一般事業収入	9, 7 8 8, 3 9 2 円 1 5 3, 1 2 6, 2 4 1 円
期末残高 未収入金 未 払 金	1 9, 2 5 8, 0 8 4 円 1 0 8, 8 9 3 円

12. 重要な後発事象
該当なし。